



2023年度震災復興支援基金
「パール未来花基金」助成グループ報告会

までいタイムズ



パルシステム東京 震災復興支援基金「パル未来花基金」
「組合員への助成活動レポート」

震災復興支援基金「パル未来花基金」の助成を受けて、復興支援活動に取り組みました。その取り組みについて、組合員の皆さんにご報告します。

| | |
|-----------|---|
| グループ名 | までいタイムズ |
| 支援対象者・エリア | 福島県南相馬市小高区 |
| 企画開催地 | 小高交流センター |
| 企画名称 | 地域交流【だれもが“までいな”ひとときを！】 |
| 実施期間 | ①2023年9月8日(金)～10日(日) ②2024年3月1日(金)～3月3日(日) |

支援活動の目的・内容・感想

(どうしてこの活動をはじめたのか、どのようなことに取り組んだのか、取り組んだ感想など)

2011年にパルシステムの組合員と役職員が一体となって被災地で支援活動を行う“パル・パラソルカフェ”という取り組みがあり、ボランティアに応募したのがこの活動のきっかけでした。その活動には参加できませんでしたが、それから現在のパル未来花基金が設立し、2015年から助成を受けながら、年2回のペースで、訪問を続けています。(19年度は不採択でしたが、自費で訪問)

震災直後、私達に何ができるだろうかと、という他人事ではない強い思いに駆られ、「ホッとタイムインキャラバン」という名で活動をスタートしました。オリジナル歌集を用意し、歌声喫茶のように一緒に歌うことや、アロマやフラワーアレンジのワークショップ、オリジナルのコースター作りなど、表現する楽しさを味わってもらおうプログラムを実施。試行錯誤しながらも、時代や状況に応じて内容を少しずつ変え、団体名も「までいタイムズ」に変更しました。「までい」とは、福島の方言で「手間暇を惜しまず」「心を込めて」「丁寧に」「ゆっくり」といった意味があります。

その後、皆さんが仮設から復興住宅へ居住されたため、小高区に拠点を移し、活動を継続しました。ほかの地域への訪問はどうするかと、何度かスタッフとミーティングを重ねましたが、私たちの移動手段が限られていることや、一か所を中心に地道に活動の幅を広げていきたいということになり、今も変わらず小高を訪問し続けています。

実施プログラムはコロナ禍で変更せざるを得なくなり、食事を兼ねた交流会や、歌うことは中止。しかし、これまで続けてきている「輪っかちゃん(コースター)ワークショップ」は、コロナの影響も受けず、誰でも参加可能なため、毎回大好評となっています。靴下屋のTABIOさんご協力のもと、靴下の廃材を使ったこのコースター作りは、形状が輪になっていることや、人と人の輪、東京と小高を繋げる、という意味で「輪っかちゃん」と呼んでいます。ゴム製なので手を傷つけることなく、力が入りにくいご高齢の方や子どもでも容易に取り組みます。参加者の中には、リピーターもおり、時間や数に制限なく、出入り自由にし、好きなだけ作成していただいています。被災した女性が、自然と震災のことを話しながらコースターを作っていたり、男性が意外なピンクのコースターを作っていたり、毎回イキイキしている様子が伺えます。ちいさなお子さまには工作やお絵かき等の造形スペースを用意し、親子での参加も年々増えてきました。日頃忙しい中、束の間ですが、おしゃべりしながら、ゆっくりとした時間を過ごしてもらえように心掛けています。

23年度も昨年度に引き続き、南相馬市からの後援の承認を受けることができました。小高区の地域振興課や地域の協力のもと、区内の公共施設や駅、飲食店などへのポスター掲示やチラシ配布ができ、また施設

利用料の免除などの優遇もあり、私たちの活動が行政に理解され、少しずつ地域に根付いてきた実感があ
ります。

年々、交流センターの利用者が減少し、参加者集めに苦戦することがあります。次年度は「輪っかちゃん
ワークショップ」をベースに、場所も含め再検討し、老若男女に参加していただける企画を考えていき
たいです。仕事や家族の都合で宿泊できないメンバーが多く、現地に伺えるスタッフは限られていま
すが、シンプルでアットホームなプログラムを今後も実施していきます。

「継続は力なり」をモットーに、“被災地を忘れない”パルシステムのスローガンと共に、までいな時間を
皆さんと過ごしていけるように、引き続き通い続けたいと思います。

活動の様子（写真など）

※別紙参照

※本レポートに掲載された写真はパルシステム東京ホームページ等で公開させていただきます。予めご了承ください。

2023年度(9月)

場所:小高交流センター 交流スペース&多目的室

馬頭琴&アルトサックスによる演奏会

まていタイム

後援:青柳馬市

参加費無料

どなたでも

親子と一緒に

どなたでも

9/9 輪っかちゃんワークショップ
誰でも簡単! コースター作り何個作ってもOK!
場所:小高交流センター 交流スペース
時間:10:00~16:00

9/9 親子で楽しむからだあそび
プロによる身体を使った演劇ワークショップ
場所:小高交流センター 多目的室
時間:11:00~12:00
申込み:定員10組 申込みフォーム

9/10 仙台から音楽の贈り物
馬頭琴&アルトサックスによるミニライブ★
場所:小高交流センター 多目的室
時間:①11:00 ②13:30

問い合わせ まていタイム(代表:田上) tomoko.twomoon.may9@gmail.com ☎080-5528-7902

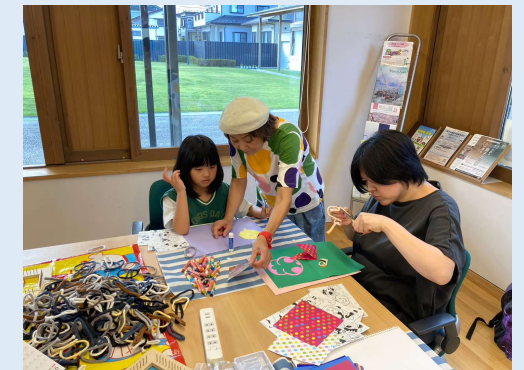
この活動はバリエーション豊かな市民活動推進基金「バリエーション系市民活動」の協力を受けています。



※親子えんげきワークショップは参加者が集まらず、「輪っかちゃんワークショップ」の中で「ほぐし体操」を行いました。

輪っかちゃんワークショップ

新規の参加者が続々と♪



たくさん作ったよ~!

造形スペースで自由工作やぬり絵も

2023年度(3月)

小高視察

メンバーの車にて、小高の現状を見て回ることができました。真の復興とは何か、考えさせられる時間となりました。

★小高神社



★小高パイオニアビレッジ



★NICOパーク



★俺たちの伝承館



NICOパーク(子ども向けプレイパーク)は新しく綺麗だったけれど、相馬小高神社には倒れたままの石灯籠があって、もしかして13年間このままだったのだろうか、何とも言えない気持ちになりました。小高パイオニアビレッジでは、海外から来てガラス工芸に携わる女性と話をしました。住民を増やすためにはここで生活していくための仕事を創出することが必要で、それを若い方たちが模索しています。頑張っって欲しいと思う一方で、(もちろん顔には出せないが)この土地でいま子どもが育つことは良いことだろうかと疑問に思ってしまう自分もいました。

「俺たちの伝承館」を見学できたことも良かったが、双葉屋旅館の女将さんのご好意で証言ビデオを観させていただいたことが、とても有り難かったです。ビデオは、津波被災や福島原発事故の経緯についての複数の方へのインタビューを、時系列に編集されたもの。同じ地区でも津波の直撃を受けたところと免れたところがある。福島原発の水素爆発が起きた時に地域の方々には何も情報が伝わっていなかったこと、たぶんそうだったろうと推測してはいても、体験者自身から聞く話には説得力がありました。福島原発で働いていた方の話も印象的でした。震災後、戻った住民は3割程度。震災孤児がいることも、はっきり聴いて胸が痛みました。

2023年度(3月)

場所:小高交流センター 交流スペース&多目的室

馬頭琴&アルトサクソによる演奏会

まいタイムズ

どなたでも! 100歳までOK! どなたでも!

3/2 輪っかちゃんワークショップ
誰でも簡単! コースター作り何個作ってもOK!
場所: 小高交流センター 交流スペース
時間: 10:00~16:00

3/2 歌謡曲に合わせてリズム体操
懐かしい曲に合わせてゆるりと体を伸ばします!
場所: 小高交流センター 多目的室
時間: 11:00~12:00

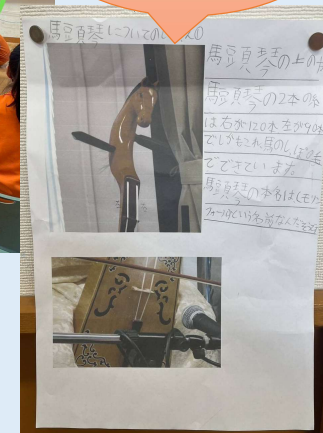
3/3 仙台から音楽の贈り物!
馬頭琴&アルトサクソによるミニライブ★
場所: 小高交流センター 多目的室
時間: ① 11:00 ② 13:30

お問い合わせ: まいタイムズ (代表: 田上) tomoko.twomoon.may9@gmail.com 080-5528-7902

この活動は「パルシステム東京児童福祉推進委員会」「パルシステム東京児童会」の協力を得ています。 後援: 南相馬市



聴きにきた子が、クラスで紹介してくれました!



※「歌謡曲に合わせてリズム体操」は参加者が集まらず中止。講師には「輪っかちゃんワークショップ」を手伝っていただきました。

小さな子どもから年配の方まで

輪っかちゃんワークショップ

誰でも簡単♪ 個数無制限😊



造形教室(塗り絵、折り紙、お絵描きなど)